

## IV 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)をもって貸借対照表価額としている。

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…定率法

(3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	50,000,000	0	50,000,000	0
投資有価証券	270,238,781	50,000,000	106,125	320,132,656
小 計	320,238,781	50,000,000	50,106,125	320,132,656
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	320,238,781	50,000,000	50,106,125	320,132,656

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
投資有価証券	320,132,656	( 319,575,500 )	( 557,156 )	( - )
小 計	320,132,656	( 319,575,500 )	( 557,156 )	( - )
特定資産				
小 計	0	( 0 )	( 0 )	( - )
合 計	320,132,656	( 319,575,500 )	( 557,156 )	( - )

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	283,250	75,533	207,717
合 計	283,250	75,533	207,717

7.満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
みずほフィナンシャルグループ劣後12回	100,238,781	98,600,000	△ 1,638,781
第29回三菱UFJFG期限前劣後免除特約付	70,000,000	69,781,600	△ 218,400
第38回三菱UFJFG劣後免除特約付	100,000,000	92,140,000	△ 7,860,000
大和証券グループ本社第47回無担保社債	50,000,000	49,400,000	△ 600,000
合 計	320,238,781	309,921,600	△ 10,317,181

8.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金	52,000,000
合 計	52,000,000

9. その他

金融商品の状況に関する注記

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、投資信託により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、投資信託であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。